

金沢西高等学校野球部



創部 1976年

部員 1年生15名、2年生7名、3年生8名、マネージャー4名（令和4年度）

部長 谷村浩志

監督 川場裕佑

活動場所 第1グラウンド

目標 甲子園で勝つ野球

部訓 「自分の技術を信じる勇気」「仲間を信じる勇気」「For the teamに徹する勇気」

大会成績

<県大会>

優勝 2回 2008年春季大会
2011年秋季大会

準優勝 2回 2003年春季大会
2006年春季大会

ベスト4 1回 2008年選手権大会

<北信越大会>

ベスト8 3回 2003年春 2008年春
2011年秋



<西高卒の現役プロ野球選手>

谷内亮太(2008年度卒・主将・遊撃手)

金沢西高→国学院大→東京ヤクルトスワローズ→北海道日本ハムファイターズ

泉 圭輔(2014年度卒・主将・投手)

金沢西高→金沢星稜大→福岡ソフトバンクホークス

<2022 年度大会結果>

- 春季大会
2回戦 金沢西 1 - 9 小松
- 選手権大会
1回戦 金沢西 1 - 3 門前
- 秋季大会
1回戦 金沢西 3 - 8 金沢二水



<2021 年度大会結果>

- 春季大会
1回戦 金沢西 3 - 2 鹿西 (延長 10 回)
2回戦 金沢西 4 - 3 七尾 (延長 13 回タイブレーク)
3回戦 金沢西 0 - 7 金沢 (8 回コールド)
- 選手権大会
1回戦 金沢西 9 - 0 野々市明倫 (7 回コールド)
2回戦 金沢西 1 - 8 金沢学院大付 (7 回コールド)
- 秋季大会
1回戦 金沢西 4 - 2 羽咋
2回戦 金沢西 1 - 4 寺井



<2020 年度大会結果>

- 春季大会 中止
- 選手権大会 中止
- 石川県高等学校野球大会 (選手権代替大会)
金沢地区予選 金沢西 4 - 3 野々市明倫
石川県大会 1回戦 金沢西 2 - 6 小松
- 秋季大会
1回戦 金沢西 2 - 3 北陸学院



<金沢西高等学校野球部の指導方針>

○ 野球を通じた「人間力」の育成

本校では「文武両道」を目標とし、勉学・部活動の双方で頑張る「強い心」を持った生徒を育てています。野球部の選手に求められることは、グラウンドだけでなく学校生活においても他の生徒の模範となり、リーダーシップを発揮することです。

それが、試合の中でも活躍できる者の条件です。

試合中は誰も助けてはくれません。自分の力で道を切り拓き、自分の手で勝利をつかみとる「強い心」が絶対に必要なのです。グラウンドでは、

- ① 弱気発言厳禁
- ② 絶対他人のせいにはしない
- ③ 態度・表情に出さない

の3つを約束事としています。日々の練習・学校生活を通じて「強い心」を培い、甲子園での勝利を目指して頑張っています。

○ 「思考」してプレーする

本校野球部では、場面を想定した選手間のミーティングを重視しています。いかなる場面でも一つの判断が、勝敗を左右します。グラウンドにいる選手一人一人が、的確な判断をするためには、次のプレーを「予測」し、「準備」できる思考力が必要です。

また毎日の朝練習では、各自が強化すべきテーマを設定し、課題の克服や技術の向上に励んでいます。人に指示されてから動くのではなく、一人一人が意図を持って、「思考」してプレーすることで、驚くほど上達のスピードが上がります。

本校野球部で3年間を過ごせば、自分が見違えるほど成長できたと実感できるはずです。

